

集落支援員だより

第6号

発行者 東和地域集落支援員

連絡先 66-2490

発行日 平成31年2月26日



集落支援員とは

今回は、太田鷹二行政区の佐久間一人さんにひと言いただきました。



太田鷹二行政区 佐久間一人さん

集落支援員って何？

集落支援員だよりを見て、孫が私に質問する。

孫 「ねえねえ集落支援員って何？」

私 「私にもよく分からないところがあるが、読んで字のとおり集落を支援する人だよ。」

孫 「集落って、支援が必要なの？」

私 「今、集落は急激に変化しているからね。課題も多いんだよ。」

孫 「集落の課題って何？」

私 「集落によって違ってくるが、共通して言えることは集落を担う方が年々少なくなっていくことかな。」

孫 「人が少なくなると、何が問題なの？」

私 「共同作業だったり、お祭りのような伝統行事が、今の様にできなくなるかな。残すべきもの、形を変えて残すべきもの、あるいは廃止するものを話し合う必要があるかな。」

孫 「どんな活動をしているの？」

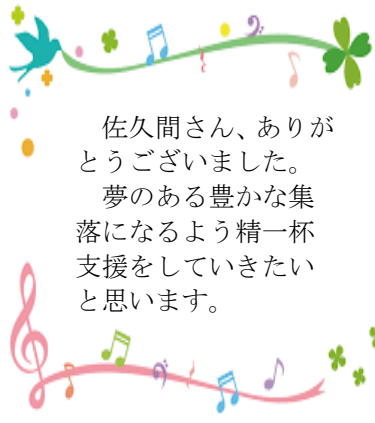
私 「社会福祉協議会で勤めている『いきいきサロン』立ち上げの力になっていくと聞いたよ。」

孫 「私たちが大人になっても、集落は大丈夫なの？」

私 「大丈夫だよ。今の子どもたちが大人になっても、夢のある豊かな集落がここに残っているよ。そのため、集落支援員の人たちが私たちがこれからの集落をつかっていくのだから。」

孫 「集落支援員の仕事って、大事なんだね。」

*孫との会話になっていますが、本当はもう一人の私です。(佐久間さん)



佐久間さん、ありがとうございました。豊かな集落になるように支援したいと思います。

地域づくり事例発表会

太田地区 地域づくり事例発表会

新年を迎え一月二十四日に、太田地区団体長連絡協議会と、青少年育成市民会議太田地区推進協議会の合同新年会が行われました。その際に、太田地区で地域づくり活動をされている団体から事例発表会がありました。発表された団体は、西谷行政区、布沢の環境を守る会、東和地域グリーンツーリズム推進協議会の三団体でした。



▲ 事例発表の様子

西谷行政区

国士館大学生との農業体験を通じた交流活動を十年間にわたり行ってきました。小さな西谷という集落が再び活性化するように、国士館大

学西谷学校の経験を活かし、新たな活動を進めていきたいとの思いで取り組んでいます。

布沢の環境を守る会

里山の環境整備をすると共に、布沢集落の棚田の景観保全のための活動を行いました。ピオトープをつくり、東和小四年生が参加してホタルやトンボの観察会を実施したり、遊休農地を活用した大豆の栽培や純米酒造りに取り組みました。

東和地域グリーンツーリズム推進協議会

白髭集落では中山間地域等直接支払制度を実施していますが、今から五年先・十年先を見据えて行動を起こしていかないと、本当に集落は衰退の一途を辿ってしまうと危惧しています。その起爆剤として、農林21号の米作りや、地域資源を活かした仕事づくり・地域づくりを目指した取り組みをしています。

これからも活動を継続され、太田地区がますます活性化することを期待すると共に、私たち集落支援員もできることから支援をしていきたいと思えます。事例発表会に参加させていただきありがとうございました。

活動報告会

大学生の力を活用した
集落復興支援事業

去る二月二日、針道九区集会所において、県の事業である大学生の力を活用した「集落復興支援事業」の、東北文化学園大学の教授・学生による平成三十年年度活動報告会が行われました。



▲ 活動報告をする東北文化学園大学の
枝川（はらいかわ）教授と学生2名

針道九行政区では、活動一年目ということで、集落の現地調査とアンケート実施により、実態を把握し、集落の行事に参加することにより住民との交流を図ってきました。

当地区は若い世代が多く、その若いエネルギーを「あばれ山車」以外のことにも使えないかと考えています。継続して集落でできるようなことをこれから住民の皆さんと一緒に考えていきたいということです。

そして、当地区にある施設を大学の「サテライトキャンパス」として活用で

きないかとも考えているそうです。事業の活動期間は二年間と短いですが、学生の若い力で集落活性化のきっかけとなれば幸いです。今後の活動に期待しています。

貯筋（ちよきん）で介護予防

いきいき百歳体操

「いきいき百歳体操」をご存じでしょうか？それは、筋力をつけ、転ばないようにするために、おもりを手首や足首につけて、座って行う簡単な体操です。

二月十二日に太田住民センターにおいて、東和公民館の佐々木久美子さんが中心になり「いきいき百歳体操」が行われ、一緒に参加させていただきました。



当日は太田地区の住民二十一名が参加し、椅子に座って皆で声を出し、数を数えながら体操しました。声を出すのは、

体操によって血圧が上昇するのを抑えるためです。そして、体の動きはゆっくりの方が筋肉には効果的だそうです。

体操した方の中には「毎朝新聞を取りに行く際、息切れしなくなりました。」などのうれしい声も聞かれました。

健康で長生きするために、ぜひお友達を誘って「いきいき百歳体操」を始め「貯筋」してみてくださいか？若い方も大歓迎です。

興味のある方、体操をしてみたいという方は、二本松市高齢福祉課包括ケア推進係（二三一三六〇〇）までお問い合わせください。

サロン紹介

料理講習会

二月九日、太田の西谷公会堂において、西谷サロンの料理講習会が地域おこし協力隊の樋口陽子さんを講師に行われました。

メニューは「キッシュ」「鶏もも肉のポトフ」「かぼちゃプリン」の三品目です。

樋口さんの歯切れのよい説明、特に料理で一番大事な調味料等の分量について詳しく教えていただき、皆納得のいい様子で手際よく調理を進めていました。

最後は出来上がった料理を皆でいただき、その出来映えと味に大満足の様子でした。

次回も新しい料理を教えてくださいたいと、参加者全員で話していました。



樋口さんに料理を教わる西谷サロンの皆さん



- ★メニュー★
- * キッシュ
- * 鶏もも肉のポトフ
- * かぼちゃプリン



▲ 3種の料理の他、皆で持ち寄った漬物なども食卓に並べられました。